

令和2年度個別事業の紹介について

本市においては、平成27年国勢調査における人口が5万人を下回るなど、若者の流出をはじめとした人口減少及び少子高齢化が進行しており、これにより起こりうる地域社会や地域経済の衰退などの重要課題に「切れ目なく」対応し、若者や女性をはじめ多様な世代がいきいきと住み、働き、子育てできる地域づくりを推進していく必要があります。

このことから、令和2年度予算は旧市民病院跡地での文化施設を核とした新文化交流施設の整備、新交通システム構築に向けた実証実験の実施など「氷見まちなかランドデザイン」に基づくまちづくりを推進するとともに、消防出張所整備や指定避難所の耐震化工事などの総合的な防災力の強化、北部中学校敷地での学校給食センター整備などの教育環境の充実、ビジネスサポートセンターの開設やエリアマネージャーとの連携による中心市街地エリアの価値向上と地域経済の活性化、広域観光・インバウンドを視野に入れた滞在型観光の推進など、「ひみ元気プロジェクト」に掲げる事業へ重点的に予算を配分し、第8次氷見市総合計画が目指す「人 自然 食を未来につなぐ交流都市ひみ」の実現に向け、総合的な事業展開を強力に推進するための予算となっています。

次ページからは、令和2年度において取り組む事業について、第8次氷見市総合計画に定める4つの基本目標とその基本目標に基づく16の政策ごとに説明しておりますので、個別の事業がどのような未来につながっていくのかをイメージしながら読み進めていただけたら幸いです。

第8次総合計画 基本目標及び政策

I 暮らしづくり

- 1 安全で安心につつまれた生活の確保
- 2 健やかで心安らかな暮らしの充実
- 3 利便性の高い生活基盤の整備
- 4 自然と調和した生活空間の創造

II 人づくり

- 1 親子の笑顔がきらめく環境の整備
- 2 「生きる力」をはぐくむ教育の充実
- 3 学びによる豊かな人生の創造
- 4 地域を支える市民活動の活性化

III 元気づくり

- 1 氷見の食・ブランドの確立
- 2 地域特性を生かした産業の振興
- 3 競争力の高い魅力ある観光都市の形成
- 4 将来に夢が持てる雇用の創出
- 5 多様で活発な交流の促進

IV 持続可能な自治体経営の確

- 1 誰もが主役のまちづくりの推進
- 2 スリムでわかりやすい行政の実現
- 3 周辺団体や国・県等との連携強化

個別事業の紹介の見方

①新規・拡充・継続の別

新規: 令和2年度に新たに取り組む事業です。
 拡充: 令和元年度継続事業のうち、内容を拡充した事業です。
 継続: 令和元年度に引き続き実施する事業です。

②事業費

この事業に必要な費用の合計を記載しています。

③事業の担当課及び電話番号

この事業を行う課名及び電話番号です。

新規 国土強靱化地域計画策定事業費

418万円

(前年度)

-

担当課 地方創生推進課

電話番号 74-8011

1. 本市の現状と課題

平成25年に国土強靱化基本法が施行され大規模自然災害等に備えた強靱な国づくりを総合的・計画的に推進するため、「国土強靱化基本計画」等が策定されました。これにより、市町村においても法第13条に基づき国土強靱化地域計画の策定の促進を図ることとされて...

2. 令和2年度事業の内容

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化地域計画を策定します。

④事業の内容

この事業の目的や、具体的に何を行うか、どのような効果が期待されるのかを記載しています。

3. 目標値または実施により求める効果

どのような大規模自然災害等が起こっても機能不全に陥らない、「強靱な地域」をつくりあげるためのプランを策定します。

財源		経費内訳	
市の負担	418	委託料	412
		その他	6

(単位: 万円)



⑤財源

この事業を実施するために必要なお金がどこから来ているかを記載しています。

国の負担	国庫補助金など国から来るお金
県の負担	県補助金など県から来るお金
市債	事業を実施するため、金融機関や国から借りるお金
その他	事業を実施することにより、利益を受ける方からいただく負担金や施設の使用料、寄附金など
市の負担	市のお金(一般財源)

⑥経費内訳

財源が、主にどのような費目として支出されているかを記載しています。

⑦その他

事業の内容は、本書を作成した3月時点のものとなっております。

